

# 脳腫瘍摘出手術を受けられる

説明日 年 月 日 《入院診療計画書》

様へ

担当医師

担当看護師

麻酔の方法は**全身麻酔**です

月/日	入院時	手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目~退院日
検査	血液検査 尿検査 レントゲン・CT 心電図 呼吸機能検査(必要時)	済んでいるか 確認します		手術直後に CT・レントゲン・血液検査 があります			術後3日目 頭部MRIをとります。					
食事	普通食 * 必要時制限食となります	夜0時以降 <b>召し上がることは出来ません。</b>	麻酔科医が <b>指示した時間</b> まで飲水が可能です ( : )まで( ml) 看護師が用意します。	<b>食事・飲水はできません</b> うがいをする事は可能です。 口の中が気持ち悪いとき等は看護師を呼んでください。	朝、又は昼より <b>食事</b> が開始になります <b>全粥食</b> が出ます		希望により食事の形状を変更できます					
内服薬と注射	確認しますので、常用薬を看護師にお渡し下さい		高血圧や心臓の疾患をお持ちの方は、医師の指示により少量の水(30ml程)で内服していただく場合があります	手術中より点滴を行います <b>痛み止め(坐薬もしくは点滴)</b> が使用できません。 痛みがある時は我慢せずに看護師を呼んでください。	補液のための点滴を行います 元々飲んでいた内服薬を内服します	食事 <b>も</b> 食べることができて、全身状態がよろしければ、点滴は終了です	痛みがある場合は鎮痛薬を使用します。痛みは我慢せずに医師、看護師に報告してください。また、薬の説明に薬剤師が伺うことがあります。薬について何か分からないことがありましたら、遠慮なく聞いてください。					
処置	時計・メガネ・アクセサリ・ヘアピン・義歯・コンタクトレンズなどは手術前に外します。  貴重品は鍵のかかる引き出しに入れてください。		血栓予防のため出棟直前に <b>弾性ストッキング</b> を履いてください  かなりきつい靴下です。履けない場合は看護師を呼んでください。	手術後 <b>酸素マスク</b> をつけます 手術後2時間ごとに検温を行います <b>血栓予防の為、足にフットポンプをつけます。また術後ICUを利用することがあります</b> 注)3			手術部位のガーゼははずします。創部が気になる場合は、帽子、バンダナ等をご用意ください。また、創部周囲に滲出液が貯まる場合があります。必要に応じて創部より滲出液を抜く場合があります。  創部の抜糸を行います					
清潔		入浴・洗髪・爪きりを済ませましょう。				首から下のシャワーが可能です	頭を洗うことができます。手術部位など洗うのに不安がある場合などある場合は、遠慮なく看護師におっしゃってください。お手伝いさせていただきます。					
排泄	制限はありません			手術中から <b>尿道に管</b> が入ります。	問題がなければ尿道の管を抜きます	制限はありません						
活動	制限はありません		手術室へは(歩行・車椅子・ベット)で向かいます。 ( : )から手術が始まります 手術時間は( )の予定です	<b>ベット上での安静</b> になります	問題がなければ起き上がり歩行できます	頭痛等体調に問題がなければ、日中は出来るだけ起きるようにしましょう。手術後は手術部位から顔にかけて腫れる場合があります。起きる時間を増やすなど、頭を高くすることにより腫れの引きが早くなります。						
説明	看護師より入院生活や手術に関する説明を行います <b>T字帯</b> をご用意ください。 地下1階の売店で販売しております。	<b>手術室看護師</b> の訪問があります  <b>麻酔科医師</b> の説明があります									退院に向けて、医師より手術後の検査結果など説明があります。	

上記のスケジュールにそっての入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。

ご不明な点は、遠慮なくお尋ねください。

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにたがって変わり得る場合があります。

注2) 入院期間については現時点のものです。

注3) 状態により変更する場合があります。

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 脳神経外科 2013年3月作成